

経営比較分析表（平成28年度決算）

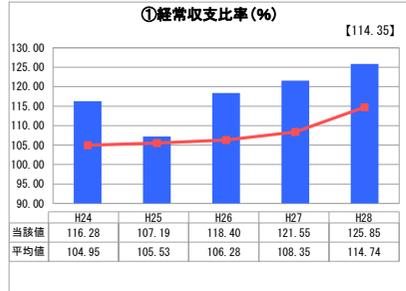
山形県 小国町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	63.63	62.14	3,326	

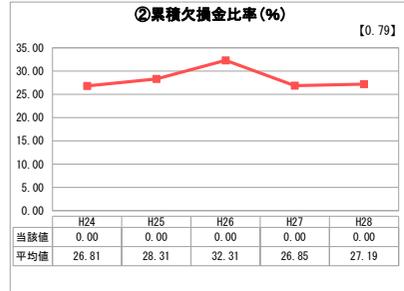
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,000	737.56	10.85
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,901	6.92	708.24

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

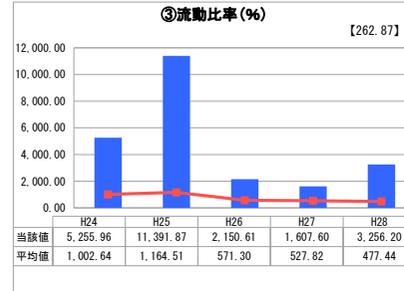
1. 経営の健全性・効率性



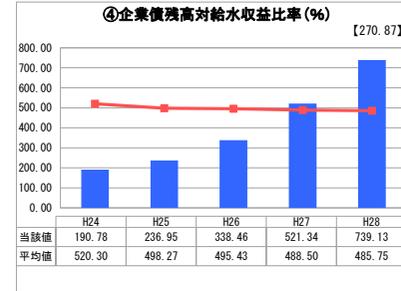
「経常損益」



「累積欠損」



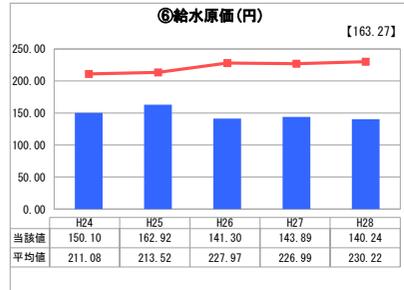
「支払能力」



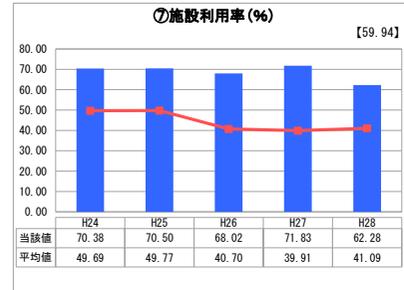
「債務残高」



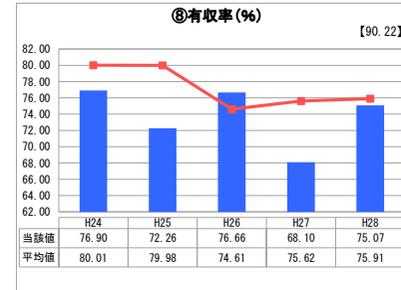
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

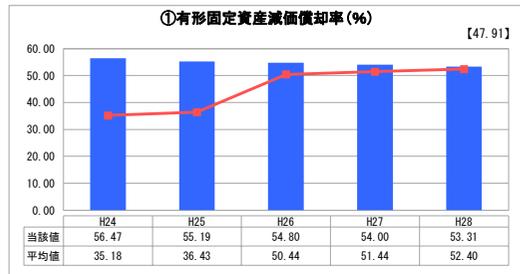


「施設の効率性」

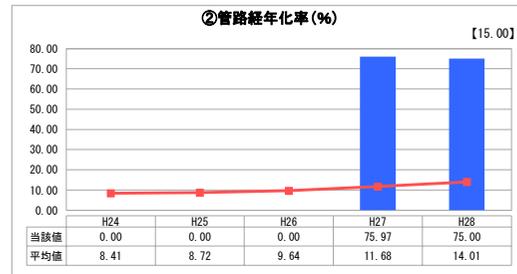


「供給した配水量の効率性」

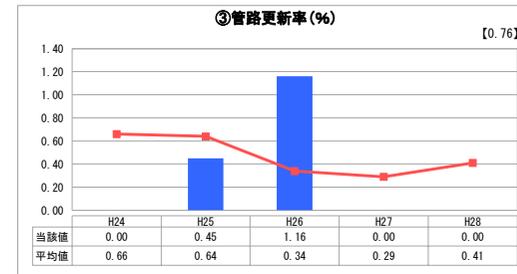
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

（収益の分析）
経常収支比率は連続して前年度を上回り、料金回収率も向上している。有収率は年度ごとに変動はあるが平均値レベルとなっており、安定した収益を維持している。

（企業債残高の分析）
新水源事業への投資により比率が高くなり平均を上回った。平成30年度まで投資が続く見込みであり、長期的な給水収益の確保に向けた対応を要する。

（施設利用率の分析）
給水人口の減少はあるものの、平均値を上回る。

（経営の健全性・効率性の分析）
収益は安定確保されており、施設利用率も平均を上回り、経営の健全性、効率性は図られている。しかし、新水源への投資により増える企業債に対応し、将来の安定給水、安定経営のため、料金改定も含めより効率性の高い経営を検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

新水源、新配水池の整備に係る投資を優先したことにより、管路の更新が未実施となっている。今後、経営状況を踏まえ、計画的に実施していく予定である。

全体総括

平成28年度は健全性、効率性の高い経営となっているが、今後企業債が増加していくことから、料金回収率、有効率の向上に努め、経営努力を行っている。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。